

公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和 6 年度事業計画

令和6年度事業方針	4
I 自主事業の企画制作	
1 公演事業	6
(1) 新たに舞台芸術作品をプロデュース・上演	6
(2) 愛知発のプロデュース作品を広く届けるためのツアー	8
(3) 卓越した鑑賞公演	9
(4) ファミリー・プログラム	11
(5) その他の公演	12
2 人材養成事業	13
3 普及啓発事業	14
II 広報等、連携・交流	
1 広報等	16
(1) 広報	16
(2) 販売促進	16
(3) 賛助会員制度	16
(4) 調査・研究	16
2 他団体との連携・交流	16
(1) 海外芸術交流事業	16
(2) 圏域の公立文化施設とのつながり	16
(3) 職員の派遣	16
III 愛知芸術文化センターの管理・運営	
1 芸術劇場及びアートスペース	17
2 アートプラザ	17
3 愛知芸術文化センター全体	17
(1) 施設管理	17
(2) 防火・防災	17
(3) 芸文センターの活性化	17
IV 収益事業	
1 ミュージアムショップ	18
2 プレイガイド	18

令和6年度事業方針

公益財団法人愛知県文化振興事業団（以下「事業団」という。）は、平成4年4月の設立以来、設立目的である個性豊かな地域文化の振興と世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、各種の文化事業を実施してまいりました。

また、平成26年度からは愛知芸術文化センターの指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場の運営等に携わっております。

この間、芸術劇場では、平成29年3月に「愛知県芸術劇場中長期計画」、令和2年3月には「愛知県芸術劇場第2次中長期計画」を策定し、芸術劇場の基本的な方向性を定め、様々な事業を展開してまいりました。

そして、今後もこうした取組みを発展・強化させるため、このたび「愛知県芸術劇場第3次中長期計画」を策定し、芸術劇場のあるべき姿として、2つのビジョンを掲げるとともに、5つの使命（ミッション）の達成を目指していくこととしました。

<ビジョン>

- ・ 日本の舞台芸術をリードする劇場
- ・ あらゆる人々の「よりどころ」となる劇場

<使命（ミッション）>

- 1 作品の創造と再演（つくる）
- 2 卓越的・先駆的な舞台芸術を鑑賞する機会の提供（みる）
- 3 誰もがアクセスできる劇場づくり（ひろげる）
- 4 中部圏の文化拠点としての役割強化（そだてる・つなぐ）
- 5 心豊かな生活と活力ある地域社会の実現への貢献（こたえる）

令和6年度におきましても、これらミッションの遂行に向けて、全国トップクラスの機能を備えた劇場を活用し、適正な劇場マネジメントにより国内外の優れた舞台芸術を鑑賞する場を幅広く提供いたします。

また、上質な舞台芸術公演や先駆的・実験的な作品を提供するという芸術的方针に従い、国際的なレベルの創造性・発信性に満ちた多彩な舞台芸術公演を行うとともに、舞台芸術を担う人材の養成や、小学生から18歳までの子どもを劇場に招待する「劇場と子ども7万人プロジェクト」をはじめとする普及啓発などに取り組めます。

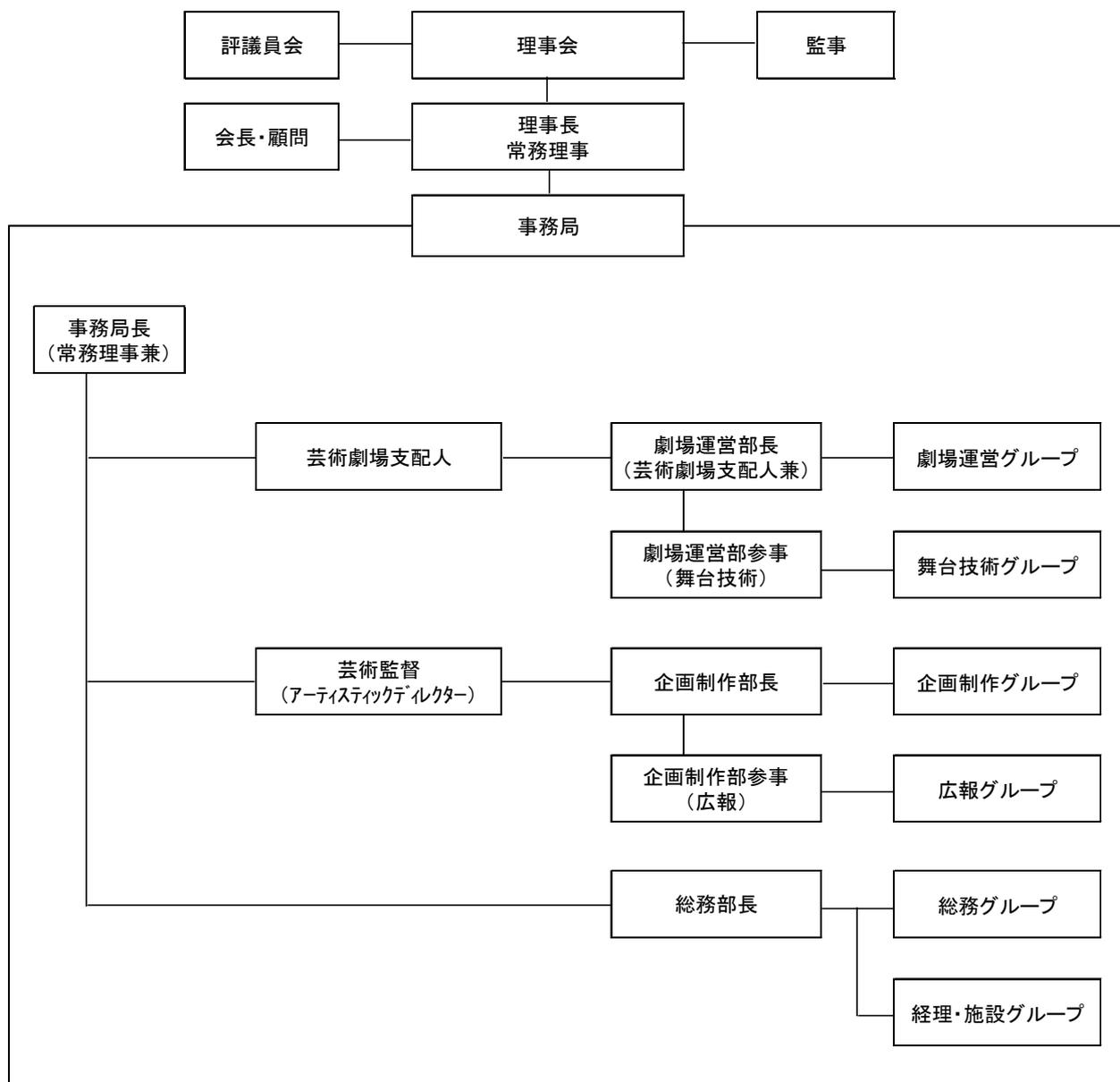
さらに、県内外（国外含む）の劇場との連携によるツアー公演や、地域の文化施設や商業施設等と連携する「久屋ぐるっとアート」などを展開して地域文化の振興を図るほか、障がいのある方や在住外国人など劇場に来場しづらい方向けのワークショップ等を開催するなど、社会課題の解決に向けた取組みも実施いたします。

事業団が実施する自主事業につきましては、地元企業様をはじめ、様々な団体・個人からの御協力をいただいておりますが、令和3年度からは新たに賛助会員制度を立ち上げ、文化振興を通じての地元企業様等とのさらなる関係強化を目指しております。今後とも当制度を継続実施し、関係強化を図ってまいります。

令和6年度は第三期指定管理（令和6年度～10年度）の初年度にあたり、第一期からの通算では11年目となります。これまで積み重ねてきた経験を活かし、お客様・ご利用者様の目線に立ち、安心・安全かつ快適な環境づくりとサービスの向上を図るとともに、質の高い舞台芸術公演を実施することで、これまで以上に芸術文化の振興に貢献できるよう努めてまいります。

●組織体制

(1) 令和6年度組織体制(4月1日現在)



(2) 職員数

常勤役員	2名
職員	34名
嘱託員	10名
計	46名

I 自主事業の企画制作

5つのミッションに基づき、当館プロデュースによる新作の創造発信に取り組むとともに、国内外のアーティストによる多彩で上質な舞台芸術公演を県民に提供します。

併せて、ゴールデンウィークと夏休みに事業を集中的に開催する「ファミリー・プログラム」や小ホールにおいて先駆的・実験的な作品を通年で上演する「ミニセレ」を実施いたします。

また、舞台芸術に関わる人材の養成や舞台芸術への関心を高めるための普及啓発にも引き続き力を入れ、芸術文化のすそ野の拡大を図ります。とりわけ普及啓発においては、小学生から18歳までの子どもたちを劇場に招待し、質の高い舞台芸術に触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」を継続してまいります。

1 公演事業

(1) 新たに舞台芸術作品をプロデュース・上演

音楽、ダンス、演劇など、様々な領域を横断する作品を、プロデュース・上演することで、新しい芸術への興味を促進し新たな劇場ファン層を広げます。小ホールの特徴を活かして、先駆的・実験的な作品を上演する「ミニセレ」シリーズなどを実施します。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
 第22回AAF戯曲賞受賞記念公演 『とりで』	11月23日(土・祝) ～25日(月) (3公演)	小ホール
	上演を前提としたAAF戯曲賞の受賞作品を舞台化。応募総数91作品から選出された村社祐太郎の戯曲を上演。「失言」が看過されやすい家庭と、社会のポリティカル・コレクトネスによる是正の対比をもとにした、家庭関係を描いた戯曲を上演します。	
 愛知県芸術劇場×DaBY パフォーミングアーツ・セレクション 2024	11月29日(金) ～12月1日(日) (3公演)	小ホール
	12月8日(日) 9日(月) (4公演)	神奈川芸術劇場
	Dance Base Yokohama (DaBY) との共同製作。愛知公演では酒井はなと岡田利規による新作、島地保武、ハラサオリ&小暮香帆の3つの新作を初演。神奈川ではそれらに加え2023年に発表した作品を合わせて上演します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
テラッピン・パペット・シアター×第七劇場 with 愛知県芸術劇場 共同プロジェクト	2月9日(日) ～11日(火・祝) (6公演)	小ホール
	2月14日(金) (2公演)	パティオ池鯉鮒 (知立)
	2月16日(日) (2公演)	四日市市文化会館 (四日市)
	オーストラリア×日本の合同スタッフによる幼児向けパフォーマンスの新作。ストーリーは地震の影響により世界で一人になった自分を想像する子どもの視点で描く物語。タスマニアを拠点に活動する人形劇団と第七劇場主宰・演出家の鳴海康平の書き下ろし。シドニー、メルボルン、タスマニアで初演後に当劇場ほかで上演します。	
チェルフィッチュ×藤倉大 with アンサンブル・ノマド 『リビングルームのメタモルフォーシス』	3月1日(土) (1公演)	名古屋市芸術創造センター
	2023年に創作され、オーストリアの芸術祭“ウィーン芸術週間”で上演された現代演劇×現代音楽による音楽劇。国内外で活躍する劇団チェルフィッチュ主宰の岡田利規と現代音楽作曲家の藤倉大が手掛けた社会における「人間中心主義からの脱却」をテーマにした舞台を上演します。ウィーン芸術週間、ヘレンハウゼン芸術祭（ドイツ）、オランダ・フェスティバル、愛知県芸術劇場の4者による共同製作。	
4 事業		

(2) 愛知発のプロデュース作品を広く届けるためのツアー

愛知県芸術劇場発のプロデュース作品を広く届けるための再演ツアーを行います。

事業名	開催日	会場
	事業概要	
ビヨンド・バレエ ビヨンド・ヒップホップ ダブルビル 他	5月10日(金) 11日(土) (2公演)	ジャパン・ソサエティ (ニューヨーク)
	5月17日(金) (1公演)	PS 21 (チャタム)
	5月21日(火) (1公演)	NOH SPACE (サンフランシスコ)
	出演ダンサーの「振付の原点」と「再構築」のテーマで、当劇場で創作され、全国ツアーでも高く評価された2作品を海外にて上演。酒井はな(ダンス)と岡田利規(演出・振付)がバレエの古典『瀕死の白鳥』の新旧を描きます。	
第20回AAF戯曲賞受賞公演 『リンチ(戯曲)』	10月25日(金) ~27日(日) (3公演)	京都芸術センター
	2022年に第20回AAF戯曲賞受賞記念公演として行ったプロデュース公演の再演。振付家・演出家の余越保子が演出する演劇とダンスを越境したパフォーマンスを行います。	
【再掲】 愛知県芸術劇場×DaBY  パフォーミングアーツ・セレクション 2024	11月29日(金) ~12月1日(日) (3公演)	小ホール
	12月8日(日) 9日(月) (4公演)	神奈川芸術劇場
【再掲】 テラッピン・パペット・シアター ×第七劇場 with 愛知県芸術劇場 共同プロジェクト	2月9日(日) ~11日(火・祝) (6公演)	小ホール
	2月14日(金) (2公演)	パティオ池鯉鮒 (知立)
	2月16日(日) (2公演)	四日市市文化会館 (四日市)
4事業(うち再掲2事業)		

(3) 卓越した鑑賞公演

3つのホールを活用し、愛知県芸術劇場ならではの卓越したダンス公演やコンサート、初級者からも楽しめる良質なオルガン公演などを実施します。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
NDT（ネザーランド・ダンス・シアター） プレミアム・ジャパン・ツアー2024	7月12日（金） 13（土） （2公演）	大ホール
	オランダを拠点に60年以上にわたり世界で上演を続けるコンテンポラリーバレエカンパニーNDT。約5年ぶりに来日し、著名な振付家によって創られた4作品を上演します（日本初演）。群馬、神奈川公演あり。	
フランソワ・エスピナス オルガン・スペシャルコンサート	8月7日（水） （1公演）	コンサートホール
	国内最大級のオルガンの魅力と性能を最大限に引き出す正統派のクラシックコンサート。ヴェルサイユ宮殿王室礼拝堂首席オルガニストで、ヨーロッパの伝統を受け継ぐ名匠と呼ばれるフランソワ・エスピナスが、充実した演奏をお届けします。	
 加藤訓子 スティーヴ・ライヒプロジェクト DRUMMING / COUNTERPOINT	9月13日（金） 14日（土） （2公演）	小ホール
	豊橋出身で世界的女性パーカッショニストの加藤訓子による作曲家スティーブ・ライヒのソロステージと、若手アーティストらがライヒの傑作「ドラミング」に挑む先駆的・実験的な2つのプログラムです。京都・神奈川・埼玉公演あり。	
オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～	10月30日（水） （2公演）	コンサートホール
	入門者から初級者へのステップアップにつながる、数々の名曲とともにオルガンの魅力を1時間でお届けするコンサート。演奏は、東海圏出身で現在はミュゼ川崎シンフォニーホール・ホールオルガニストを務める大木麻理です。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
サーカス・シルクール 『ニッティング・ピース』	11月26日(火) (1公演)	大ホール
	スウェーデンに拠点を置く現代サーカスカンパニーが愛知で初公演。これまでに14か国63都市で上演され、「人々は平和を編むことができるか」という問いが織り込まれています。平和を願う白い糸とロープによる幻想的な舞台上で、綱渡りやダイナミックな空中演技を披露します。	
クリスマスはオルガンだ！2024	12月24日(火) 25日(水) (2公演)	コンサートホール
	華やかな冬の音楽と本格的なクラシック音楽を堪能いただくコンサート。当劇場オルガニストの都築由理江が他の楽器と共演します。奏者の手元や足元を大型スクリーンに投影する演出を行います。	
藤原歌劇団創立90周年記念公演 『ファルスタッフ』（ニュープロダクション） G. ヴェルディ作曲 オペラ全3幕 〈字幕付き原語（イタリア語）上演〉	2月8日(土) (1公演)	大ホール
	日本で最も歴史のあるオペラ団体の愛知公演。今回は、記念公演としてシェイクスピア原作で、オペラの巨匠ヴェルディが最晩年に作曲した傑作を上演します。指揮は時任康文、演出は岩田達宗と、オペラを知り尽くした二人による新演出となります。	
7事業		

(4) ファミリー・プログラム

ゴールデンウィークや夏休みに開催する、家族のためのフェスティバルです。舞台芸術の持つ様々な魅力を、子どもから大人まで世代を越えて楽しめるプログラムを実施し、劇場全体を楽しくにぎやかな場所にします。



事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
愛知県芸術劇場オープンハウス	4月27日(土)	大ホール 小ホール
	劇場を一日無料開放して、舞台や客席、ビューフェ等、日本初の本格的なオペラシアターを3年ぶりに自由に見学いただけます。小ホールでは参加型イベントも開催します。	
THE オルガン NIGHT&DAY 2024	5月2日(木) 3日(金・祝) (3公演)	コンサートホール
	「短かめのプログラム」、「出かけやすい時間」、「ワンコイン」と、“手軽さ”を追求したパイプオルガンのコンサート。今回は愛知出身で盛岡市民文化ホールオルガニストの渋澤久美が出演し、耳馴染みのある名曲や、子どもに人気の曲を演奏します。司会・歌は名古屋出身の加藤恵利子が務めます（DAYのみ）。	
ペック from スコットランド	7月19日(金) ～21日(日) (6公演)	小ホール
	7月24日(水) ～8月9日(金)	県内ツアー（8箇所）
	UK シアターアワードで「子どもと若者のためのベストショー」を受賞するなど、高い評価を受けるスコットランドのパフォーマーによるノンバーバルの一人芝居。想像力豊かな遊びやオブジェがたくさん登場するハートフルな物語です。	
げきじょうたんけんツアー	7月25日(木)	大ホール
	普段は見るできない劇場の裏側を見学できるバックステージツアー。ジョニー隊長とジョニ子副隊長（いずれも劇場スタッフ）と一緒に、劇場の裏側を探る体験学習です。2,480席を誇る中京圏最大級の大ホール版を昨年に続き開催します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
赤ちゃんと踊ろう (パパ編、ママ編、パパ・ママ編)	8月20日(火) 21日(水)	中リハーサル室
	赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流できるダンスワークショップ。抱っこやおんぶをしながらリズムに合わせて踊ったり、ストレッチをしたり、身体も心もリフレッシュできます。パパ・ママ編は保護者が混合で参加いただけます。	
5 事業		

(5) その他の公演

地域の芸術団体、芸術大学等と連携し、良質なコンサートなどを実施します。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
ニンフェアール 20 周年記念公演 ～Dialogue on Nature・自然をめぐる対話～ (仮) アンサンブル・ホリゾンテとともにドイツと日本の現代作品 (ニンフェアールと共催)	10月中旬 (1公演)	中リハーサル室
	ドイツのアンサンブル・ホリゾンテによる、ドイツ及び日本人作曲家による作品を演奏するコンサート。愛知県で活躍する演奏家との共演や愛知県の作曲家による新作を含んだプログラムです。	
愛知県立芸術大学管弦楽団 第 35 回定期演奏会	11月17日(日) (1公演)	コンサートホール
	東海地方唯一の公立芸術大学オーケストラによる定期演奏会。指揮は、東京交響楽団桂冠指揮者や、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授として後進の指導も行う秋山和慶です。	
2 事業		

2 人材養成事業

アーティスト人材の養成プログラムを継続的に行います。また、地域の劇場や大学等と連携して、学生インターンシップから職員セミナーまで様々なプログラムを実施し、舞台芸術を担う人材を養成します。

事業名		開催日	会場
		事業概要	
愛公文セミナー (愛知県公立文化施設協議会と共催)		6月18日(火) 7月23日(火) 8月27日(火) (3回)	アールスペース A
		ホール新任職員向けのセミナーを愛知県公立文化施設協議会と共催で開催します。	
第23回AAF戯曲賞募集・選考		募集開始：6月 最終審査会：12月 (予定)	小ホール 他
		2000年から続く「上演を前提とした戯曲賞」です。大賞受賞作品は、次年度以降に当劇場のプロデュース公演として上演します。	
人材養成事業 アーティスト	①オルガニスト養成事業 集まれ、未来のオルガニスト2024	アーティスト人材養成のための講座やワークショップを実施します。	
	②振付家・ダンサー養成事業		
	③ファシリテーター&コーディネーター人材養成講座(広場ラボ)		
舞台芸術人材養成ラボ	①舞台芸術インターンシップ	人材養成プログラムを系統立てて実施します。	
	②学生インターンシップ		
	③舞台芸術お仕事ナビ		
	④劇場職員セミナー		
	⑤【再掲】ファシリテーター&コーディネーター人材養成講座(広場ラボ)		
	⑥アトライター養成講座		
11事業(うち再掲1事業)			

3 普及啓発事業

次代を担う子どもたちを劇場に招待し、舞台芸術の魅力や劇場の楽しさに触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」として、学校招待公演等を他市町村・劇場との連携で実施します。また、普及啓発事業を系統立てて実施し、劇場に来づらい方への取組み等も実施します。

事業名		開催日	会場
		事業概要	
劇場と子ども7万人プロジェクト	愛知県芸術劇場 舞台芸術鑑賞教室 2024 絵本×朗読×パイプオルガン 「終わらない夜」	11月13日(水) (2公演)	コンサートホール
		カナダのトリックアート画家が手がけた絵本をもとに、当劇場が新たにつくるオルガンプログラム。絵本を映像投影しながら、本コンサートのために作曲されたオリジナルのオルガン曲を中心にお届けする1時間のコンサート。朗読は藤井咲有里、作曲は坂本日菜、演奏は国内で広く活躍する勝山雅世です。	
	【再掲】 NDT(ネザールランド・ダンス・シアター) プレミアム・ジャパン・ツアー2024	7月12日(金) 13日(土) (2公演)	大ホール
	【再掲】 フランソワ・エスピナス オルガン・スペシャルコンサート	8月7日(水) (1公演)	コンサートホール
	【再掲】 オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～	10月30日(水) (2公演)	コンサートホール
	【再掲】 愛知県立芸術大学管弦楽団 第35回定期演奏会	11月17日(日) (1公演)	コンサートホール
	【再掲】 サーカス・シルクール 『ニッティング・ピース』	11月26日(火) (1公演)	大ホール
	【再掲】 クリスマスはオルガンだ！2024	12月24日(火) 25日(水) (2公演)	コンサートホール
	【再掲】 テラッピン・パペット・シアター ×第七劇場 with 愛知県芸術劇場 共同プロジェクト	2月10日(月) (1公演)	小ホール
	【再掲】 チェルフィッチュ×藤倉大 with アンサンブル・ノマド 『リビングルームのメタモルフォーシス』	3月1日(土) (1公演)	名古屋市芸術創造センター
上記の再掲8公演に、県内の小学生・中学生・高校生を個人単位で招待します。			

事業名		開催日	会場
		事業概要	
久屋ぐるっとアート 2024		11月1日(金) ～4日(月・祝)	オアシス 21 他
		久屋(栄北)エリアの秋のアートフェスティバル。オアシス 21 や中部電力 MIRAI TOWER など約 20 の施設や団体が参加し、地域を盛り上げる音楽、美術、グルメのイベントを“ぐるっと”楽しみながら久屋の街の面白さを再発見いただけます。	
大人の劇場探検		3月25日(火)	大ホール
		普段は見ることのできない劇場の裏側を見学できるバックステージツアーを一般の方を対象に開催します。2,480席を誇る中京圏最大級の大ホール版で実施します。	
【高校生 ゲネプロ招待】 ・「とりで」11/22(金)(小ホール) ・「ファルスタッフ」2/7(金)(大ホール)		舞台鑑賞の楽しみや創造することの面白さを知っていただくために、ゲネプロ(本番直前の最終リハーサル)に、高校生を招待します。	
プログラム メニュー	【入門者のためのプログラム】	初めて劇場に来る方にも舞台芸術に楽しみを見出していただけの講座等を開催します。	
	【より深く楽しみたいファンを増やすためのプログラム】	舞台芸術について理解を深め、より楽しんでいただけの講座等を開催します。	
【乳幼児と保護者のためのプログラム】		一緒にダンスを楽しむ機会を市町村劇場等と連携して設けるなど、小さなお子様とともに劇場に来ていただけるプログラムを行います。	
【在住外国人のためのプログラム】		日本語を母語としない人にも舞台芸術を楽しむ、舞台芸術の力を通じて交流を深めていただくために、子どもと一緒に楽しめるワークショップ等を開催します。	
【障がい者及び劇場に来づらい人のためのサポート】		多くのお客様に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、一部の公演で、障がいのある方を対象に観劇・鑑賞のためのサポートを行います。	
17事業(うち再掲8事業)			

Ⅱ 広報等、連携・交流

1 広報等

(1) 広報

芸文センターが実施する芸術文化事業を中心に、情報紙「AAC」及びウェブサイト AAC、芸文センターウェブサイトや SNS などの各種媒体を通じて、芸術文化に関連する情報を提供します。

○ 情報紙「AAC」及びウェブサイト AAC の発行

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化に関する情報等を掲載した情報紙及びウェブサイト AAC を発行し、芸文センターの認知度・理解度の向上を図ります。

配布先：県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等
年 4 回発行（ウェブ版を含む）

○ 情報発信

芸文センターウェブサイトをはじめとして、Facebook・X（旧 Twitter）などの SNS、YouTube といった各種の媒体や仕組みの特性を生かし、劇場主催公演をはじめとした各イベントの情報を分かりやすくタイムリーに提供します。また、中部芸術文化記者クラブの事務局を担い、県内外の美術館等の情報発信を支援します。

(2) 販売促進

愛知県芸術劇場主催公演等について、オンラインチケットシステムや充実した特典を備えた会員制度の「愛知県芸術劇場メンバーズ」により、利便性の向上や収益の増加を図ります。

(3) 賛助会員制度

愛知県芸術劇場主催公演等について支援をいただくことにより、地域の企業等との関係を強化するとともに圏域の文化芸術のさらなる創造・発信につなげるため、ホームページへの掲載・パンフレットの配布の他、訪問によるご案内等を通じて賛助会員数の拡大を図ってまいります。

(4) 調査・研究

劇場及びアートスペース利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場等のニーズや課題を把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めます。また、自主事業の際には来場者アンケートを実施し、事業に対する評価や来場者属性を把握・分析し、自主事業の企画制作に反映させていきます。

2 他団体との連携・交流

(1) 海外芸術交流事業

「AAPPAC」（アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟）に引き続き加盟し、海外の劇場関係者との情報交換や人的交流、及び芸文センターの認知度向上を図ります。

(2) 圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修等を開催します。こうした人材養成の取り組みを足がかりに、愛知県内の劇場の強いネットワークを活かし、連携公演の実施や人材養成セミナーの開催など、様々な形での劇場間の連携を深めていきます。

(3) 職員の派遣

市町村や大学、他団体等に専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営等のアドバイスを実施します。

Ⅲ 愛知芸術文化センターの管理・運営

1 芸術劇場及びアートスペース

愛知県芸術劇場各ホール、各リハーサル室の利用許可や利用打ち合わせ、技術面・安全面・運営面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供します。

また、その運営にあたっては、観客及び劇場利用者の方々へのホスピタリティ向上に努めます。

芸文センター12階及び地下2階のアートスペースについても、利用許可及び利用当日のサポート等を行います。様々な芸術文化活動の表現・交流の場として快適に利用していただけるよう努めます。

加えて、芸術劇場及びアートスペースの利用サービス向上を図るため、キャッシュレス決済の活用、申請手続きの簡素化、附属設備及び延長利用料金の後納、利用条件の緩和などを推進します。

愛知県芸術劇場	アートスペース
大ホール (2,480席) コンサートホール (1,800席) 小ホール (330席 (最大)) 大リハーサル室 中リハーサル室	A室～E・F室 (会議室利用) G室～I (X)室 (展示室利用)

2 アートプラザ

芸文センター地下2階のアートプラザにおいて、県内外の公演や展覧会等の情報を収集し、来館者に提供します。年齢に関わらず気軽に立ち寄っていただけるよう、丁寧なコミュニケーションに努めます。

3 愛知芸術文化センター全体

(1) 施設管理

施設の保守・維持管理については、事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、職員や委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行います。芸文センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応します。

(2) 防火・防災

防火・防災体制については、消防法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、引き続き防災プロジェクトチームによる組織横断的な活動を行うなど、職員の災害対応に係る意識、能力の継続的な向上を図ります。また、都市再生特別措置法に基づき、名古屋駅周辺・伏見・栄地域都市再生緊急整備協議会が令和4年3月に策定した「伏見・栄地区都市安全確保計画」において、芸文センターが「一時退避場所又は退避施設」として登録されたことから、発災時に速やかに開設・運用できるよう、「退避施設開設・運営マニュアル」を策定（令和4年7月）しました。今後も芸文センターの防火・防災対策とともに、地域の防災活動の円滑化にも貢献できるよう努めてまいります。

(3) 芸文センターの活性化

「愛知県芸術劇場オープンハウス」や「久屋ぐるっとアート」など、芸文センターのにぎわいを創出する事業を展開し、芸文センターの利用促進につなげてまいります。また、地下連絡通路など共有スペースへの壁面広告の掲出や、芸文センター地下2階のフォーラムにフォトスポットとしてパイプオルガン模型を設置すること等により、芸文センターの活性化を図ってまいります。

Ⅳ 収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行います。

1 ミュージアムショップ（芸文センター10階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせ、図録・絵はがき・オリジナルグッズ等の販売を行います。

2 プレイガイド

芸文センター地下2階アートプラザ内に設置されているプレイガイドにおいて、愛知県芸術劇場の主催公演をはじめ、近隣の劇場・音楽堂等で行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行います。

また、キャッシュレス決済を活用し、利便性の向上を図ります。